

平成28年度スーパーグローバルハイスクール構想調書の概要

指定期間	ふりがな	たかつきこうとうがっこう・ちゅうがっこう				②所在都道府県	大阪府
28～32	①学校名	高槻高等学校・中学校					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	中3	高1	高2	高3	計	全日制・普通科	781名
普通科		270	45	45	360	中学校	780名
中学校	270				270	計	1561名
⑥研究開発構想名	医科大学と一体化したアジア圏の人々の健康を支えるグローバルリーダーの育成						
⑦研究開発の概要	大阪医科大学との一体的な高大連携により、グローバルヘルスに問題意識を持ち、環境、貧困、教育など様々な方向からアジアの人々の健康問題に取り組むグローバル人材を育成し、さらに思考力・コミュニケーション力・リーダーシップを高めることにより、バランス感覚あるグローバルマインドを育成するための教育システムを開発する。						
⑧研究開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p>[目的] 本校のSGH事業は、スクールミッション“Developing Future Leaders With A Global Mindset”の具現化の一様態である。同一法人下の大阪医科大学、さらに京都大学グローバルヘルス学際融合ユニットとの緊密な連携により、社会課題として顕在化しつつある「グローバルヘルス」という視点を意識づけ、海外の同世代の若者との協働活動を通して「アジアの人々の健康を支える」ことに挑む、バランス感覚に優れた次世代リーダー育成を目的とする。</p> <p>[目標]</p> <p>① グローバルヘルスに関する諸課題について問題意識を持ち、この向上と持続可能な地球環境を生み出すことに貢献できる人材を育成する。グローバルヘルスに係る課題研究への取り組みを通して得られた知見と体験が、SGH実践コースの生徒にとって、進路選択の積極的な動機づけとなることを目指す。</p> <p>② グローバルイシューについての理解やアジアの歴史に関する理解を深め、思考力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、語学力を高めることによって、バランス感覚に優れ、海外の同世代の人々と協働活動ができるグローバルマインドセットを育成する。SGH実践コースの生徒がこのマインドを身につけ、国際舞台上で活躍することを志すことを目指す。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>[現状分析] 大阪・北摂地域に位置する本校は、学校法人大阪医科大学（平成28年4月より学校法人大阪医科薬科大学）が経営する併設型中高一貫校である。創立以来70余年にわたり知・徳・体の調和のとれた全人教育を教育理念とし、卒業生は難関大学に進学し、地域社会からも進学校として評価を得ている。永きにわたり変化と無縁の環境が維持されてきたが、平成23年の創立70周年を機に学校改革に着手し、上記スクールミッションを策定、①中学での英語・英会話教育の充実、②探求型教育の導入、③国際教育プログラムの充実、の3本柱からなる特色教育をスタートした。探求型教育の推進のため、中3から高3までの4年間には3コース（GA、GS、GL）からなるコース制を敷いている。その1つがSGHに特化して開設したGA（グローバル・アドバンスト）コースである。平成27年4月にはSGHアソシエイト校として選定して頂き、目指す教育への着実な実践に努めているが、課題研究のテーマ設定の枠や進め方に関して、審査部会の委員よりいただいた指摘をふまえて、カリキュラムやテーマのカテゴリーを見直し、この度の申請に至った。なおGL（グローバルリーダー）コースは語学力あるグローバル人材育成のためのコースであるが、SGH準専用の位置づけにあり、GAコースと共通の教育プログラムを多く設定している。</p>					

	<p>[仮説]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門家との定常的な連携により、グローバルヘルスに関する問題について重要性を体系的に学ばせ、問題意識を持たせる。これにより、課題研究のテーマ設定やアプローチの仕方が実効性のあるものとなり、高次元の自発的な学びの姿勢を身につけさせる。</li> </ul> <p>グローバルイシューについて学ばせることにより、多様性の認知と適応能力、バランス感覚のあるグローバルマインドセットを育成することができる。</p> <p>コミュニケーション力、思考力を高めることにより、協働活動に求められるバランス感覚のあるグローバルマインドセットを育成することができる。</p> <p>国際化を推進する国内外のトップ大学との連携・共同プロジェクトにより、高い専門性への知的好奇心を喚起させ、自己啓発を促し、主体的な進路設計を導くことができる。</p> <p><b>(3) 成果の普及</b></p> <p>本校のSGH事業は、大阪医科大学との密な連携の下、アジア圏の人々の健康問題の解決に挑むグローバルリーダーを育成するという全国的にも希少なケースであり、成果は本校ホームページで随時公開するとともに、3年目、5年目に成果発表会を実施し、5年目には書籍化による成果普及を計画している。</p>
<p>⑧ -2 課題研究</p>	<p><b>(1) 課題研究内容</b></p> <p>「感染症」「水」「食料」「教育」「紛争」「貧困」「自然環境」「災害」「経済支援」の各テーマから1つを選択し、アジアの特定の国の「健康問題」と関連させた課題設定を行い、外部専門家の支援を受けながら、約1年半をかけ課題研究を行う。高1の年度末には、台湾研修を実施し、同年代のアジアの次世代リーダーとの協働活動を行い、英語による課題研究の中間発表を行う。高校2年では、大阪大学グローバルコラボレーションセンターの支援の下、アジア・フィールドワーク（パラオ共和国）を実施し、資料の収集、アイデアの実効性の検証等を行う。</p> <p><b>(2) 実施方法・検証評価</b></p> <p>下記の学校設定科目を設置。</p> <p>「(総合学習) グローバル課題研究」(2単位:高1・2)(1単位:高3)</p> <p>この科目の履修生徒と未履修生徒に対し、質問紙法(アンケート)、およびルーブリック法により検証評価する。ルーブリックは、校内SGH推進部で作成する。</p> <p>さらに「課題研究」活動を支えるための重要な付随的取り組みとして以下を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① スタンフォード大学(SPICE)とのグローバルヘルスに関するオンライン講座の共同開講</li> <li>② 外部講師による「SGH特別セミナー」「グローバルセミナー」「グローバル進路講演会」等の開催</li> <li>③ 京都大学グローバルヘルス学際融合ユニットの学外会員としての活動</li> <li>④ 国際的なイベント・研究会・大会への積極的な参加</li> <li>⑤ 国際機関への見学・体験学習</li> </ol> <p><b>(3) 必要となる教育課程の特例等</b> (特例なし)</p>
<p>⑧ -3 上記以外</p>	<p><b>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</b></p> <p>バランス感覚あるグローバルマインドセット、教養、思考力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、語学力育成のため、下記の学校設定科目を設置する。</p> <p>「(総合学習) グローバル スタディーズ入門」(35時間)(中3)</p> <p>「(総合学習) グローバル スタディーズ」(1単位)(高1～高3)</p> <p>「(外国語) グローバル 時事英語」(1単位)(高1)</p> <p>「(外国語) グローバル 英語表現Ⅰ」(2単位)(高1)</p> <p>「(外国語) グローバル 英語表現Ⅱ」(2単位)(高2・高3)</p> <p>上記の科目の履修生徒と未履修生徒に対し、質問紙法(アンケート)、およびルーブリック法により検証評価する。ルーブリックは、校内SGH推進部で作成する。</p> <p><b>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等</b> (特例なし、学校設定科目は上記)</p> <p><b>(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 英国ケンブリッジ大学教員によるリーダーシップ集中セミナーの実施</li> <li>② GTEC-CBT/IELTS 夏期集中英語講座</li> <li>③ 外部講師によるコミュニケーション研修 ほか</li> </ol>
<p>⑨その他 特記事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 平成27年度SGHアソシエイト校。</li> <li>② 平成26年度よりSSH指定校(平成26年度～平成30年度)。</li> </ol>